

名誉会員の紹介

第606回理事会（2016年1月）の議を経て、下記の方が2016年度定時総会（2016年6月3日）において名誉会員に推挙されました。（記載は会員番号順）



片山 卓也 君

かたやま たくや

1964年3月 東京工業大学大学院修士課程修了（電気工学）
1964年4月 日本IBM株式会社入社
1974年1月 東京工業大学工学部情報工学科 助教授
1985年2月 東京工業大学工学部情報工学科 教授
1991年4月 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 教授
2008年4月～2014年3月 北陸先端科学技術大学院大学 学長
2015年4月 中央大学研究開発機構 機構教授
2015年11月 瑞宝重光章受章

本会関係略歴

- (1) 1967年12月入会
- (2) 会誌編集委員会委員（1975年度～1977年度、1982年度～1985年度）
- (3) 論文誌編集委員会委員（1978年度～1981年度）
- (4) 理事（1986年度～1987年度）
- (5) 2005年度フェロー
- (6) 2004年度功績賞



齊藤 忠夫 君

さいとう ただお

1968年 東京大学工学系大学院修了 工学博士
1968年 東京大学工学部 講師
1969年 東京大学工学部電気工学科 助教授
1974年 カリフォルニア工科大学 研究員
1986年～2001年3月 東京大学工学部 教授
2001年 東京大学 名誉教授
2001年～2008年3月 中央大学研究開発機構 教授
2001年～2013年 株式会社トヨタIT開発センター CTO チーフサイエンティスト
2010年～2016年 一般財団法人日本データ通信協会 理事長

1993年～2014年 IFIP TC 6 日本代表
1994年～2001年 文部省学術国際局 科学官
1999年 IEEE Fellow
2005年～2006年 電子情報通信学会 会長
2005年～2014年 IFIP 日本代表
2007年 電子情報通信学会 名誉員

本会関係略歴

- (1) 1970年12月入会
- (2) 情報規格調査会 SC 6 専門委員会委員（1974年～2006年）
- (3) 情報規格調査会機能標準専門委員会委員（1991年～1998年）
- (4) 理事（1992年度～1993年度）
- (5) 英文図書出版委員会委員長（1993年度～2003年度）
- (6) IFIP 委員会委員（1993年度～2014年度）
- (7) 2014年度功績賞

2015年度功績賞

功績賞は、情報処理に関する学術または関連事業に対し特別の功労があり、その功績が顕著な会員に贈呈されます。

本年度の受賞者は関連規程に基づき、第607回理事会（2016年3月）の議を経て、下記の3君に決定され2016年度定時総会（2016年6月3日）において、賞状および賞牌が授与されました。（記載は会員番号順）



松山 隆司 君

まつやま たかし

本会正会員松山隆司君（フェロー）は、永年にわたり分散協調処理に基づいた知能システムの研究開発に携わり、その業績は画像処理、コンピュータビジョン、ヒューマンコミュニケーション、エネルギーマネジメントなど多岐にわたります。

1976年に京都大学助手に着任されて以来、デジタル画像の非線形雑音除去アルゴリズムの開発、黑板モデルおよびマルチエージェントモデルを用いた知的航空写真解析に関する先駆的な業績をあげられ、コンピュータビジョン分野では分散協調視覚システムによる複数人物協調追跡および3次元ビデオの生成・編集・圧縮・表示の実現、ヒューマンコミュニケーション分野では人間と共生する情報システムに関する研究、エネルギーマネジメント分野では情報通信技術に基づいた需要家主体の分散協調型電力管理の枠組みであるエネルギーの情報化の実現など、情報処理にかかわる幅広い分野の発展に多大な貢献をされました。

これらの卓越した研究業績は、情報処理学会創立20周年記念論文賞、文部科学大臣表彰科学技術賞、コンピュータビジョン国際会議（ICCV）Marr Prize、情報処理学会・電子情報通信学会・国際パターン認識連合（IAPR）各フェローなど多くの賞によって国内外から高く評価されています。また本会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会主査（1994年度～1996年度）、フロンティア領域委員長（1997年度～2000年度）、理事（2000年度～2001年度）などを歴任されるとともに、京都大学学術情報メディアセンター長および評議員（2002年度～2005年度）、同情報環境機構長（2005年～2010年）、同副理事長（2008年～2010年）、独立行政法人情報通信研究機構知識創成コミュニケーション研究センター長（2006年度～2007年度）を務められるなど本会ならびに情報処理分野の発展に大きく貢献されました。

以上のように、同君が国内外の情報処理分野ならびに本会の活動の発展に尽くされた功績は、まことに顕著であります。



高橋 修 君

たかはし おさむ

本会正会員高橋修君（フェロー）は、永年にわたりコンピュータネットワーク・モバイルコンピューティング分野の研究・開発に携わってこられました。

1975年電電公社（現NTT）横須賀電気通信研究所に入所されて以来、コンピュータネットワーク、インターネットをはじめとする情報通信システム分野で、数多くの研究・開発の業績をあげられるとともに、国内外のOSIにかかわる標準化活動に参加し、ISO、AOW、INTAP等の標準化組織においてもリーダーシップを発揮して、同分野の標準化に多大な貢献をされました。これらの活動に対して2000年に本会より標準化貢献賞を受賞されています。また、1999年からはNTTドコモに異動し、第三代移動通信網を利用したモバイルコンピューティングにかかわるシステムアーキテクチャとワイヤレスTCPをはじめとするプロトコル等で数多くの研究・開発の業績をあげられました。これらの成果の一部はIETFで標準化されるなどモバイルインターネットの普及にも大きく貢献されました。これらの活動に対して、2003年には本会業績賞を受賞されています。

2004年に公立はこだて未来大学に異動し、教育分野にも力を入れ、情報アーキテクチャ学科長、社会連携センター長、副理事長を歴任され、教育・研究のみならず、組織運営にもリーダーシップを発揮されています。

本会においては、OSI関連の標準化委員会、研究会、シンポジウムなど、幅広い分野において活躍されました。研究会主査を務められた際には、研究会主催の国際会議ICMU（International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking）を設立し、継続的に開催することによって、この分野の発展に貢献されてきました。また、理事（2008年度～2009年度）やFIT2011実行委員長を歴任するとともに、2005年には本会フェローの称号を授与されています。

以上のように、同君が国内外の学術の発展と研究・教育ならびに本会の発展に尽くした貢献は、まことに顕著であります。



池内 克史 君

いけうち かつし

本会正会員池内克史君（フェロー）は、永年にわたり情報科学の分野の教育研究に関して先導的な役割を果たしてこられました。コンピュータビジョンの研究分野において数々のパイオニア的な研究業績をあげられるとともに、多くの世界的研究者を育成されてこられました。特に、明るさ解析による形状復元等、物理ベースビジョンについては、同君によって創始された領域として世界的に知られています。また、バイヨン寺院デジタルアーカイブ化プロジェクト、バーチャル飛鳥京等、複合現実感の技術を応用した文化財のデジタルアーカイブ化を進められ、学際的な研究分野の発展にも先導的な役割を果たされてこられました。これらの研究業績により、1990年 David Marr Award, 1991年 CVPR1991 Outstanding Papers Award, 1998年 IEEE-RAS KS Fu Memorial Best Transaction Paper Award, 2000年日本バーチャルリアリティ学会論文賞, 2006年, 2008年本会論文賞他多数を受賞されています。

学協会の活動においては、本会フロンティア領域委員会委員長（2009年度～2011年度）、理事（2012年度～2013年度）などを歴任されたほか、電子情報通信学会、日本ロボット学会、人工知能学会、IEEE、IAPR等の運営にも深く関与され、情報科学分野の発展に大きく貢献されました。これらの卓越した功績により、2012年紫綬褒章、2013年電子情報通信学会業績賞、2015年大川賞他多数を受賞されました。

以上のように、同君が国内外の情報科学分野の発展に尽くした功績はまことに顕著であります。

各賞表彰等(概要)

詳細は Web サイト (http://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html) をご覧ください

2015 年度論文賞の表彰

本賞の選考は、表彰規程および論文賞受賞候補者選定手続きに基づき、論文賞委員会(委員長 相澤彰子)が、対象論文 458 編*につき慎重に審議を行いました。その結果、下記の7編が受賞候補論文として選定され、理事会承認(2016年3月23日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる)を得て決定されました。なお、本会表彰規程により、2016年度定時総会(2016年6月)において著者に表彰状、賞牌および賞金が授与されました。

* 選考を行ったのは「論文誌 ジャーナル」「Journal of Information Processing」「Transactions on System LSI Design Methodology」の3誌です。以下9誌については対象論文がそれぞれ50編に満たないため、論文賞選定は翌年以降に持ち越すこととしました。「論文誌 プログラミング」「論文誌 数理モデル化と応用」「論文誌 データベース」「論文誌 コンピューティングシステム」「論文誌 コンシューマ・デバイス&システム」「論文誌 デジタルコンテンツ」「論文誌 教育とコンピュータ」「Transactions on Bioinformatics」「Transactions on Computer Vision and Applications」

【情報処理学会論文賞】

- 「大規模集計データへの差分プライバシーの適用」
[情報処理学会論文誌 Vol.56, No.9, pp.1801-1816 (2015)]
寺田 雅之 君(正会員) 鈴木 亮平 君
山口 高康 君(正会員) 本郷 節之 君(正会員)
- 「イラスト画像のスタイル識別子生成」
[情報処理学会論文誌 Vol.56, No.8, pp.1657-1666 (2015)]
栗山 繁 君(正会員)
- 「大規模軌跡データからの群パターン発見のための実用的アルゴリズム」
[情報処理学会論文誌 Vol.56, No.4, pp.1292-1304 (2015)]
歌 暁亮 君 宇野 毅明 君(正会員)
有村 博紀 君(正会員)
- 「大規模 OSS 開発における不具合修正時間の短縮化を目的としたバグトリージ手法」
[情報処理学会論文誌 Vol.56, No.2, pp.669-681(2015)]
柏 祐太郎 君(学生会員) 大平 雅雄 君(正会員)
阿萬 裕久 君(正会員) 亀井 靖高 君(正会員)

【Journal of Information Processing Outstanding Paper Award】

- 「A Method for Navigating Cars in Multilevel Parking Facility」
[Journal of Information Processing Vol.23, No.4, pp.488-496 (2015)]
Weihua Sun 君(正会員)
Naoki Shibata 君(正会員)
Masahiro Kenmotsu 君
Keiichi Yasumoto 君(正会員)
Minoru Ito 君(正会員)
- 「Designing Overlay Networks for Handling Exhaust Data in a Distributed Topic-based Pub/Sub Architecture」
[Journal of Information Processing Vol.23, No.2, pp.105-116 (2015)]

Ryohei Banno 君(学生会員)
Susumu Takeuchi 君(正会員)
Michiharu Takemoto 君(正会員)
Tetsuo Kawano 君(正会員)
Takashi Kambayashi 君(正会員)
Masato Matsuo 君(正会員)

【IPSJ Transactions on System LSI Design Methodology Outstanding Paper Award】

- 「Courier : A Toolchain for Application Acceleration on Heterogeneous Platforms」
[IPSJ Transactions on System LSI Design Methodology Vol.8 pp.105-115 (2015)]
Takaaki Miyajima 君(正会員)
David Thomas 君
Hideharu Amano 君(正会員)

※上記()の会員情報は論文掲載時のものです。

2015 年度喜安記念業績賞の表彰

本会では、名誉会員故喜安善市先生のご遺族から寄贈いただいた資金により、産業界における顕著な業績を顕彰するため、「喜安記念業績賞」を設けております。

本賞は、情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績をあげ、産業界への貢献が明確になったものを選定し、その貢献者に贈呈するものです。

本年度の受賞者は、「喜安記念業績賞候補者推薦用紙」により推薦された候補のうち、表彰規程および喜安記念業績賞候補者選定手続きに基づき、前田副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、第607回理事会承認(2016年3月)を得て、下記の3件の業績の貢献者15名に決定されました。

受賞者には、本会表彰規程により、6月3日に開催された2016年度定時総会において、表彰状、賞牌および賞金が授与されました。

- 「消費電力性能に優れた独自メニーコアプロセッサ PEZY-SC とスーパーコンピュータの開発」
齊藤 元章 君(正会員) 木村 耕行 君
石井 敬 君 角田俊太郎 君
佐藤 篤 君
- 「高スケーラブルデータベース統合基盤の開発と事業化」
土田 正士 君(正会員) 小寺 孝 君(正会員)
河村 信男 君(正会員) 中野 幸生 君(正会員)
原 憲宏 君
- 「テキスト含意認識技術の研究開発と事業化」
土田 正明 君(正会員) 石川 開 君
中尾 敏康 君(正会員) 岩田 太地 君
アンドラーデ ダニエル 君

2015 年度長尾真記念特別賞の表彰

本会では、第 20 代会長長尾真先生（京都大学名誉教授）からご寄贈いただいた資金により、情報処理の研究・開発に携わる優秀な若手研究者を顕彰するため、「長尾真記念特別賞」を設けております。

本賞は、情報処理の学術・技術にかかわる分野でその研究開発に特に顕著な貢献が認められ、今後の進歩、発展が期待される 39 歳までの研究・開発者に贈呈するものです。

本年度の受賞者は「長尾真記念特別賞候補者推薦書」により推薦された候補者のうち、表彰規程および長尾真記念特別賞候補者選定手続きに基づき、徳田副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2016 年 3 月 23 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、下記の 4 君に決定されました。

受賞者には、本会表彰規程により、6 月 3 日に開催された 2016 年度定時総会において、表彰状および賞金が授与されました。

- 「ラックスケールコンピュータ・ネットワークの設計に関する先駆的な研究」
鯉淵 道紘 君（正会員）
- 「ネットワーク技術を包括的に取り扱うクロスレイヤアプローチによる新たなモバイルネットワークシステム開発」
内藤 克浩 君（正会員）
- 「コードクローンに関する研究およびその技術移転・産学連携活動」
肥後 芳樹 君（正会員）
- 「ビッグデータに対するデータマイニングの高速化に関する先駆的研究」
藤原 靖宏 君（正会員）

2015 年度優秀教育・教材賞の表彰

本会では、情報処理教育に関して優れた教育者ならびに教材開発者を顕彰するため、優秀教育賞ならびに優秀教材賞を設けております。

本年度の受賞者は、表彰規程および同賞候補者選定手続きに基づき、寛捷彦情報処理教育委員長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、第 607 回理事会承認（2016 年 3 月）を得て、決定いたしました。

受賞者には、本会表彰規程により、6 月 3 日に開催された 2016 年度定時総会において、表彰状および賞金が授与されました。

【優秀教育賞】

- 「農学系ゲノム科学領域における情報科学・統計科学教育の実践」
石井 一夫 君（正会員）

【優秀教材賞】

- 「全国高等専門学校プログラミングコンテストにおける競技部門システム開発ならびに公開」
寺元 貴幸 君（正会員）

2015 年度学会活動貢献賞の表彰

本会では、特定分野の運営、または会員サービスの向上への貢献を顕彰するため、学会活動貢献賞を設けております。

本年度の受賞者は、表彰規程および学会活動貢献賞候補者選定手続きに基づき、前田副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2016 年 1 月 29 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、決定いたしました。

受賞者には、本会表彰規程により、6 月 3 日に開催された 2016 年度定時総会において、表彰状および賞牌が授与されました。

- 「論文誌への査読貢献」
市村 哲 君（正会員） 安本 慶一 君（正会員）
宇田 隆哉 君（正会員）
- 「学会誌における編集業務への貢献」
五十嵐悠紀 君（正会員）
- 「デジタルプラクティスへの査読貢献」
西 直樹 君（正会員）
- 「認定情報技術者制度創設への貢献」
旭 寛治 君（名誉会員） 芝田 晃 君（正会員）
西 直樹 君（正会員）
- 「大学情報入試全国模擬試験の開催に対する貢献」
中野 由章 君（正会員） 植原 啓介 君（正会員）
鈴木 貢 君（正会員）
- 「プログラミングコンテスト Samurai Coding の運営への貢献」
坂本 一憲 君（正会員）

2015 年度感謝状の贈呈について

本会の運営等への貢献に対する感謝の意を表するため、感謝状を贈呈しております。

本年度は、規程に基づき、第 606 回理事会承認（2016 年 1 月他）を得て贈呈が決定し、6 月 3 日に開催された 2016 年度定時総会において感謝状を贈呈いたしました。

- 「長尾真記念特別賞ご寄贈の貢献」
長尾 真 君（名誉会員）
- 「喜安記念業績賞ご寄贈の貢献」
故 喜安 善市 君（名誉会員）
- 「会誌編集長の貢献」
中島 秀之 君（正会員）
- 「学会活動（国際交流）への貢献」※表彰は第 78 回全国大会
IEEE Computer Society
China Computer Federation
International Federation for Information Processing
Korean Institute of Information Scientists and Engineers
- 「論文誌編集業務への貢献」※表彰は 5 月 16 日論文誌編集委員会
堀山 貴史 君（正会員） 今泉 貴史 君（正会員）
飯田 龍 君（正会員） 中山 泰一 君（正会員）

2015 年度フェローのご紹介

2015 年度「情報処理学会フェロー」は、関連規程に基づき、フェロー選定委員会（委員長：宮部博史）において厳正な審査を行い、理事会承認（2016 年 2 月 24 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、下記の 15 君に決定されました。

なお、2015 年度フェローには、2016 年 6 月 3 日に開催された 2016 年度定時総会において、認証状が授与されました。

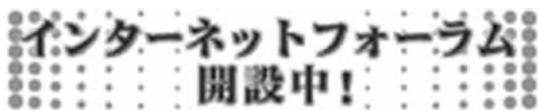
詳細は Web サイト（<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/fellow/fellow.html>）をご覧ください。

- 「クラウドコンピューティングの研究開発および学会の運営および活性化に対する貢献」
申田 高幸 君（正会員）
- 「大局視覚・視覚感性情報処理の研究ならびに学会活動への貢献」
興水 大和 君（正会員）
- 「コミュニケーション・コラボレーション支援技術の研究および学会運営への貢献」
小林 稔 君（正会員）
- 「ロボット会話研究に対する先駆的な貢献と研究コミュニティの活性化への貢献」
小林 哲則 君（正会員）
- 「デジタル交換方式、プロトコル工学およびコンピュータネットワークに対する貢献」
齊藤 忠夫 君（正会員）
- 「パーソナルデータ活用のためのプライバシー保護技術の社会普及」
高橋 克巳 君（正会員）
- 「情報科学技術におけるサービスサイエンス新領域の確立と日本のコミュニティ創出に対する貢献」
日高 一義 君（正会員）
- 「高性能計算システムの開発およびアプリケーション高速化に関する貢献」
朴 泰祐 君（正会員）
- 「情報の活用と保護のためのセキュリティ技術の研究およびその製品化と普及に対する貢献」
吉浦 裕 君（正会員）
- 「バイオインフォマティクスの数理モデルとアルゴリズムの研究に対する貢献」
阿久津達也 君（正会員）
- 「並列計算機アーキテクチャと動的再構成可能システム技術に対する貢献」
天野 英晴 君（正会員）
- 「「発見科学」の学問領域の確立と情報科学分野発展への貢献」
有川 節夫 君（正会員）
- 「先進的コンピュータの開発と各種標準規格制定活動による情報処理産業発展への貢献」
浦城 恒雄 君（正会員）
- 「CG や文書処理等の技術に関する先駆的業績および関連分野の人材育成」
大野 義夫 君（正会員）
- 「データマイニングおよびマルチメディア技術の実用化に対する貢献と人材育成」
折原 良平 君（正会員）

Web サイトバナーについて

本会では Web サイト内 (<http://www.ipsj.or.jp>) に載せるバナー広告を募集しています。当サイトへ広告を載せることで、本会会員または情報処理に興味のある方々に強くアピールすることができます。ぜひ本会 Web サイトへのバナー広告掲載をご検討ください。

- トップページアクセス数：約 30,000 件／月
- サイズ・ファイル形式：幅 200 × 高さ 38 ピクセル JPEG もしくは GIF 形式 ※リンク先 URL もご指定ください。
- 見 本：



- 掲載期間：1 カ月単位の契約となります。ご希望掲載期間をお知らせください。
- 掲 載 料：トップページ：50,000 円／月（税込 54,000 円）
その他のページ：30,000 円／月（税込 32,400 円）
*本会賛助会員の企業広告および賛助会員が主催する会議については、上記料金より 20%割引になります。
- 注意事項：アニメーションを含むバナーはご遠慮ください。
広告の内容が大幅に変更された場合は、下記照会先にご連絡ください。
- 照会／申込先：

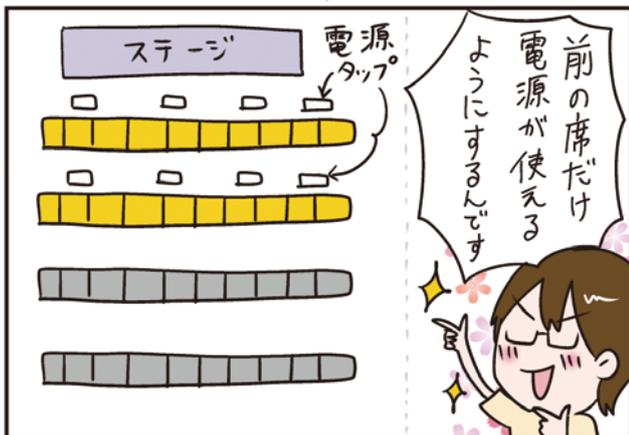
[広告代理店]
アドコム・メディア（株） E-mail:sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

または 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8371

IT日和

イラスト 山本ユウカ

vol.11 席



App Store アプリのお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から読むことができます!



会誌「情報処理」



デジタルプラクティス

アプリのダウンロードはこちら (無料)

デジタルプラクティス



情報処理学会 会員募集中!!

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます



詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「ポケとツッコミという視点で捉える研究論文」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■異なる分野の方の意見だったため良かった。(匿名希望)

編集委員会特別企画「紙飛行機デザインプロジェクト」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■実際に作れる点良かった。(匿名希望)

■この1年でモニタをして初めて出てきた、動的な企画。(高橋尚子)

特別解説「ディープラーニングを用いたコンピュータ囲碁」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■タイムリーなタイミングで大変興味深い内容であった。今後もこのようなスピード感ある掲載を期待します。また、本分野は進化のスピードが速い領域であるため、定期的な掲載を期待します。(生駒勝幸)

■ある程度仕方ないと思うが、時期が悪かったと思う。今同じテーマで書いたらおそらく同じ内容にならない。(匿名希望)

■ちょうど良いタイミングであり、興味深かった。李九段との対戦後の評価・分析についての記事をお願いしたい。(匿名希望)

■Alpha Go など時機を得た記事があると興味深く読めます。(匿名希望)

特集「プログラミング入門をどうするか」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■小学生から大学生までのプログラミング教育について、大学でプログラミングを教える者として、大変参考になりました。また、現在小学生の娘にも Scratch を触れさせてみようと思いました。(匿名希望)

■プログラミング教育、特に早期段階での教育とその意義、効果については以前から大変興味がありました。初等・中等教育全体のグランドデザインとその中での位置付けというのが最も重要なのかなと感じています。(阿部一晴)

■プログラミングも非常に大事ですが、小中学校からのデジタル回路工作や、3D プリンタ利用等の教育も今後大切に

なってくるのではないのでしょうか。(匿名希望)

■プログラミングをどう教えるかは各教育機関で抱えている問題だと思う。このように他大学の取り組みが開示されると参考になる。(匿名希望)

■小学生の記事は教師側も学習側もワクワクしている感が伝わってくるのに、中学生以上になると教師側のご苦労が伝わってくるように思えたところに、教育・学習の難しさを感じました。(匿名希望)

■青山氏の記事で、小学生と大学生における創造性の「逆転」が指摘されており、非常に納得がいった。(匿名希望)

■約30年前、小学校低学年の従妹に、DOSもないBASICモニタしか使えないパソコンで、ランダムな円を描かせるプログラムを教えました。難しいかな?と思ったら、同じプログラムを何度も何度も入力して、RUNしてじっと見つめていました。繰り返しの数字を変えると円の数が変わることを教えたなら、数字を変えてまた入力してRUNしていました。プログラミングは、決して、小学生にできないことはありません。その従妹は、今、情報サービス企業のSEになっています。決して私が人生を決めたわけではありません。(高橋尚子)

「3. 子供の創造的活動とプログラミング学習」

■授業や研究室では数学やアルゴリズムやプログラミングも説明していて、学生には興味を持ってもらいたいのですが、なかなかそうもいきません。青山学院大学の阿部先生の記事(中学で習った1次関数が実際に使えない)には、卒研の指導で毎年同じような経験をしています。(匿名希望)

「6. 東京大学における全学プログラミング教育」

■大学での実態が興味深かった。(匿名希望)

「8. 公立はこだて未来大学における初年度プログラミング教育」

■“どこかに既存コードの流用部分があってもよい”のところが良かった。教える側が最初にそう宣言してしまえば、学習者もそれを踏み台にして堂々と先に進めるのではと思った。(匿名希望)

解説「ユーザ投稿型レシピの情報処理」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ユーザ投稿型レシピの情報処理は今後増加する一方だと思う。(匿名希望)

■料理レシピの解析は知っていたが、キッチンで働くロボットに応用できることは知らなかったので役立ちました。(長山知由理)

連載「女子部が行く! : 新世代企画委員会」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■どうも最近、「女子」と付けること自体に違和感があります。(匿名希望)

■「女子部」が良いです。貴学会での女性の活躍に期待します。(匿名希望)

■新世代企画委員会に期待します。(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：サイバーセキュリティにおける3つのインテリジェンス」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■著者が専門で取り組まれている具体的な内容を掲載してほしかった。書面スペースの都合もあると思いますので、今後の取り組み視点と、具体的な取り組みレベルの掲載を期待します。(生駒勝幸)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■現在、放送大学に在学しているが、ほぼ、自分で勉強して、自分で調べていく学習だ。それに比べて、ほかの大学は、手取り足取り、情報科目を学生に教える教育だ。デパートみたいに言語があるが、プログラミングに深みがあるような文章がない。ぜひ、文学を始めるくらいのプログラミングを始めしてほしい。そういう、深みのある内容をもっと、扱ってほしい。(匿名希望)

■世の中でホットな、AIやIoT、ロボットなどのテーマについて、タイムリーな記事を期待しています。これらの動向用に記事掲載する枠を設けて、最新動向を掲載してはどうでしょうか。(生駒勝幸)

■パスワードの定期的変更による安全性向上の有無について専門家の見解を掲載してほしい。さまざまな場面でパスワードの定期的変更が要請され、あるいは定期的変更を要求しないシステムが構築されているが、いずれも根拠がはっきりしていないように思える。情報処理のような専門誌で何らかの見解を示すことは社会にとって有益であると思う。(匿名希望)

■なぜ、学会は、博士課程とか大学院とか、学歴社会のIT

をいまだにやっているのか。コンピュータのありきたりな記事ではなく、数値計算や、プログラミングの専門的な話題をどんどん、取り入れるべきだ。数学もどんどん、推し進めたい。20代の若い人ばかりのエンジニア育成だけでなく、能力主義のIT社会を目指してゆくべきだ。放送大学の岡部学長などにも登場していただきたい。(匿名希望)

■暗号技術、通信の暗号化を取り上げてほしい。(匿名希望/ジュニア会員)

■大学での研究と企業での研究の共通点と相違点のような、学生さん向けの特集があっても面白いと思います。(匿名希望)

■興味深いテーマを幅広い知見でまとめられており、該当分野の実質的な理解がより進むと考えています。情報の技術者・研究者も幅広い知識が必要になってきていると感じています。(匿名希望)

■ディープラーニングについての特集記事を希望します。(匿名希望)

■PS4 VRを取り上げてほしい。(匿名希望/ジュニア会員)

■Technological Singularityについて取り上げてほしい。(匿名希望)

■紙面の材質がもう少し反射を抑えた材質にしていただけると良いのではないかと思います。本誌の材質は鏡面反射成分が強く読みにくく感じます。(匿名希望)

■実際の「プログラミング入門」の連載もあるとうれしい。(匿名希望)

【本欄担当 北山大輔, 大見嘉弘/会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPJS カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「IoT時代のインターネットと運用技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-P.html	6月17日(金)		
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-L.html	7月22日(金)		
	デジタルプラクティス「社会に浸透する画像認識」特集への論文投稿のご案内 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0802s.html	8月5日(金)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-F.html	8月10日(水)		
	論文誌「情報システム論文」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-M.html	8月10日(水)		
	論文誌「ネットワーク科学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-H.html	10月3日(月)		
	論文誌「離散と計算の幾何・グラフ・ゲーム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-N.html	10月31日(月)		
6月22日(水)	東北支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2016.html			東北大学
6月24日(金)～	第158回アルゴリズム研究発表会	4月17日(日)	当日のみ	石川県教育会館
6月25日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al158.html			
6月25日(土)	第34回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot34.html	4月25日(月)	当日のみ	京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス
6月28日(火)	連続セミナー2016 第1回「実世界に埋め込まれる人工知能」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター
7月2日(土)	第135回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce135.html	5月11日(水)	当日のみ	信州大学
7月4日(月)～	第108回数理モデル化と問題解決・第46回バイオ情報学合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps108bio46.html	5月19日(木)	当日のみ	沖縄科学技術大学院大学
7月6日(水)～	マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2016)	3月22日(火)		鳥羽シーサイドホテル
7月8日(金)	シンポジウム http://dicomo.org/			
7月11日(月)	東海支部主催講演会「子供たちの未来とIT教育のこれから」 http://www.ipsj-tokai.jp/			名古屋工業大学
7月13日(水)～	第193回ソフトウェア工学研究発表会	5月11日(水)	当日のみ	北海道立道民活動センター
7月15日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se193.html			
7月14日(木)～	第74回コンピュータセキュリティ・第19回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec74spt19.html	5月10日(火)	当日のみ	山口大学吉田キャンパス 大学会館
7月15日(金)				
7月15日(金)～	第102回ドキュメントコミュニケーション研究発表会	5月14日(土)	当日のみ	広島RCC文化センター
7月16日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dc102.html			
7月22日(金)	連続セミナー2016 第2回「ビッグデータ活用を支えるクラウド基盤技術」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	日本大学理工学部駿河台校舎1号館/ 大阪大学中之島センター
7月28日(木)～	第112回音声言語情報処理研究発表会	5月16日(月)	当日のみ	天童温泉・ほほえみの宿「滝の湯」
7月30日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp112.html			
7月29日(金)～	第1回アクセシビリティ研究発表会	5月20日(金)	当日のみ	国立情報学研究所
7月30日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/aac1.html			
7月29日(金)～	第227回自然言語処理研究発表会	6月21日(火)	当日のみ	岡山県立大学
7月30日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl227.html			
7月30日(土)	第111回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch111.html	6月6日(月)	当日のみ	長崎県五島市 福江文化会館
8月5日(金)～	第36回ゲーム情報学・第41回エンタテインメントコンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi36ec41.html	6月11日(土)	当日のみ	サン・リフレ函館
8月6日(土)				
8月8日(月)～	第93回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	6月10日(金)	当日のみ	九州工業大学 戸畑キャンパス
8月9日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm93.html			
8月8日(月)～	2016年並列/分散/協調処理に関する『松本』サマー・ワークショップ(SWoPP2016) https://sites.google.com/site/swoppweb/swopp2016	5月13日(金)	当日のみ	キッセイ文化ホール
8月10日(水)				
8月22日(月)～	第13回ネットワーク生態学シンポジウム	6月24日(金)	定員になり次第	かずさアカデミアホール(千葉県木更津市)
8月23日(火)	http://www.neteco.jp/symposium/2016/index.html			
8月22日(月)～	情報教育シンポジウム2016(SSS2016)	5月9日(月)		グリーンピア大沼
8月24日(水)	http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2016			
8月25日(木)～	第42回組込みシステム研究発表会	7月4日(月)	当日のみ	下呂温泉水明館
8月26日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb42.html			
8月30日(火)～	平成28年度電気関係学会東北支部連合大会	6月20日(月)		東北工業大学 八木山キャンパス
8月31日(水)	http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/index.html			
8月31日(水)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2016(SES2016)			東洋大学 白山キャンパス
9月2日(金)	http://ses.sigse.jp/2016/			
9月5日(月)～	第163回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究発表会	6月30日(木)	当日のみ	宇奈月温泉 杉乃井ホテル
9月6日(火)	www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg163.html			
9月7日(水)～	FIT2016 第15回情報科学技術フォーラム	5月19日(水)		富山大学
9月9日(金)	http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/			五福キャンパス

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月12日(月)～	平成28年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会	6月30日(木)		豊田工業高等専門学校 (愛知県豊田市)
9月13日(火)	http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2016/			
9月12日(月)～	第11回セキュリティ国際ワークショップ (IWSEC2016)			御茶ノ水ソラシティ
9月14日(水)	http://www.iwsec.org/index.html			
9月13日(火)～	平成28年度電気関係学会北陸支部連合大会			福井工業大学
9月14日(水)	http://2016.jhes.jp/			
9月14日(水)～	第8回コラボレーション技術に関する国際会議 (CollabTech2016)			石川県政記念しいのき 迎賓館
9月16日(金)	http://www.collabtech.org/			
9月14日(水)～	DAシンポジウム2016—システムとLSIの設計技術—	6月24日(金)		山代温泉ゆのくに天祥
9月16日(金)	http://www.sig-sldm.org/das/			
9月26日(月)	関西支部支部大会	6月17日(金)		大阪大学中之島センター
	http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2016/index.html			
9月29日(木)～	平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会	7月13日(水)	聴講事前参加	宮崎大学
9月30日(金)	http://www.jceee-kyushu.jp/		申込期間6/13-8/12	(木花キャンパス)
9月30日(金)	連続セミナー2016 第3回「スマートなヘルスケアとライフケア」		定員になり次第	日本大学理工学部駿河 台校舎1号館/ 大阪大学中之島センター
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html			
10月4日(火)～	第9回モバイルコンピューティングとユビキタスネットワークに関する国際会議 (ICMU2016)			DFKIKaiserslautern, Germany
10月6日(木)	http://www.icmu.org/icmu2016/			
10月20日(木)～	組込みシステムシンポジウム2016 (ESS2016)			早稲田大学
10月22日(土)	http://www.sigemb.jp/ESS/2016/			
10月28日(金)	連続セミナー2016 第4回「広がりを見せるIoTの現状と今後の展望」		定員になり次第	日本大学理工学部駿河 台校舎1号館/ 大阪大学中之島センター
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html			
11月4日(金)～	ゲームプログラミングワークショップ2016 (GPW-16)			軽井沢学習研修所 (予定)
11月6日(日)	http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/			
11月12日(土)～	エンタテインメントコンピューティングシンポジウム (EC2016)		当日可	グランフロント大阪・ 相愛大学
11月14日(月)	http://ec2016.entcomp.org/index.php			
11月15日(火)	連続セミナー2016 第5回「メディアアート」		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html			
12月22日(木)	連続セミナー2016 第6回「フィンテック～ブロックチェーンの理解と応用～」		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html			
2017年				
3月16日(木)～	情報処理学会第79回全国大会			名古屋大学
3月18日(土)	http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/			東山キャンパス



Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 5月20日 2016年度定時総会の開催について：展示紹介を追加しました
- 5月19日 論文誌「IoT時代のインターネットと運用技術」特集論文募集
- 5月19日 論文誌「離散と計算の幾何・グラフ・ゲーム」特集論文募集
- 5月15日 人材募集情報 (Vol.57 No.6)
- 5月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.57 No.6)
- 5月13日 デジタルプラクティス「社会に浸透する画像認識」特集論文募集
- 5月6日 論文誌編集規程の改訂について
- 4月28日 「世界最先端 IT 国家創造宣言」に対する意見
- 4月27日 2016年熊本地震と学会の目指すもの—会長メッセージ—
- 4月25日 2016年度定時総会の開催について
- 4月22日 情報処理学会創立記念日に寄せて

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000円（税込 21,600円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000円（税込 32,400円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円（税込 54,000円）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000円（税込 4,320円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■国立研究開発法人情報通信研究機構

募集人員 研究職員（パーマネント研究職員またはテニユアトラック研究員）および、パーマネント研究技術職員を合わせて 10～20名程度
研究職員公募の研究分野 (1) センシング基盤分野, (2) 先端ネットワーク分野, (3) 情報解析・利活用分野, (4) ICTセキュリティ分野, (5) ICTフロンティア分野, (6) その他情報通信に関するイノベティブな技術

研究技術職員公募の技術分野 (1) センシング基盤技術分野, (2) 統合ICT基盤分野, (3) データ利活用基盤分野, (4) サイバーセキュリティ分野, (5) フロンティア研究分野

着任時期 原則として2017年4月1日

提出書類 研究職員: (1) 訪問票（当機構指定様式*）、(2) 研究経歴書（要約を含む）、(3) 論文リスト（誌上発表および口頭発表別）、(4) 主要な研究業績（主な著書あるいは論文3編点程度（抜き刷り・コピー可））、(5) 研究計画書

研究技術職員: (1) 訪問票（当機構指定様式*）、(2) 経歴書（要約を含む）、(3) 主要な業績等、(4) 保有する資格・免許・特殊技能等
*訪問票の様式は機構Webページからダウンロードしてください。その他は様式自由です

応募締切 2016年7月14日（木）17:00（必着厳守） *書面による提出（郵送・宅配便等）のみ受付

照会先 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町4-2-1 国立研究開発法人情報通信研究機構 総務部人事室人事グループ 採用担当

E-mail: jinjig@ml.nict.go.jp Tel(042)327-7304 Fax(042)327-7590

その他 情報通信研究機構では、情報通信技術の研究開発推進のため、優秀で意欲のある研究者および研究技術者を年齢問わず広く公募いたします。公募に関する詳細は、必ず機構Webページ（<http://www.nict.go.jp/employment/index-top.html>）をご確認ください

■島根大学研究・学術情報機構総合情報処理センター

募集人員 准教授または講師 1名

所属 島根大学研究・学術情報機構（総合情報処理センター）

業務内容 島根大学の情報セキュリティに関する業務

応募資格 (1) 情報セキュリティに関する業績および業務経験があり、情報セキュリティ機器に関する知識が豊富で、情報セキュリティインシデントの発生防止活動に熱意を持ち、積極的に取り組んでいただける方、(2) 着任時に、修士または博士の学位を有する方または同等と認められる方

着任時期 2016年10月1日（予定）

提出書類 個人調査書、職務・研究等業績調査書、主要な業績の概要の資料またはそのコピー等

応募締切 2016年7月15日（必着）

送付先 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学学術国際部情報企画課情報企画グループ

照会先 研究・学術情報機構総合情報処理センター長 會澤邦夫 Tel(0852)32-6475

その他 任期: 5年（再任可: ただし、満65歳に達する日の属する年度の末日を越えることはできない）

選考方法: (1) 第1次審査（書類選考）および第2次審査（プレゼンテーションおよび面接）を実施します。第1次審査で選考された候補者には、第2次審査を実施します

必ずWebサイト（http://www.shimane-u.ac.jp/introduction/recruit/recruit_prof/）研究・学術情報機構（総合情報処理センター・CSIRT）の教員公募について【H28/7/15必着】で詳細を確認した上で、応募ください

■湘南工科大学工学部情報工学科

- 募集人員 教授・准教授または講師 2名(当初3年任期, 任期満了後, 審査により正規雇用とする)
- 専門分野 ①組込みシステムおよびハードウェア設計技術, ②情報処理技術に関する分野
- 担当科目 ①「コンピュータアーキテクチャ」「論理回路」「オペレーティングシステム」「基礎プログラミング」など, ②「オブジェクト指向プログラミング」「プログラミングのための基礎解析・線形代数」「情報処理システム」など
- 応募資格 (1)博士の学位を有する方, もしくは, それと同等の業績を有する方, (2)私立大学における教育と研究に理解と熱意がある方, (3)学部の教育, 特にアクティブラーニングに熱意を持って取り組んでいただける方, (4)プログラミングを中心としたPBLに積極的に取り組んでいただける方, (5)大学院における教育を担当できることが望ましい
- 着任時期 2017年4月1日
- 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト(著書, 査読付き学術論文, 査読付き国際会議論文, 国内学会発表等に分類), (3)主要論文別刷(5編程度, コピー可), (4)今までの教育活動の経験, 今後の教育活動に対する抱負, および研究計画書, (5)推薦状1通, または本人をよくご存じの方2名のお名前とご連絡先
- 応募締切 2016年8月10日
- 送付先 〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25 湘南工科大学事務局 事務局長 茂田 努
「情報工学科 教員応募書類①」または「情報工学科 教員応募書類②」と朱書き書留
- 照会先 工学部情報工学科長 二宮 洋 E-mail: ninomiya@info.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0218
- その他 詳細はWebページ (<http://www.shonan-it.ac.jp/contents/outline/recruitment/teacher/index.html>)をご覧ください



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.57 No.6 (June 2016)



【一般論文】

- 組込システム用マイクロコントローラのための内蔵周辺モジュール割り当ての高速化 角川裕次
- Virtual Machine Co-migration for Out-of-band Remote Management Sho Kawahara 他
- キャッシュヒット率に着目した入出力バッファの分割法の実現と評価 土谷彰義 他
- 秘密分散通信のための無線マルチホップ配送手法* 松垣博章 他

- Information-Theoretically Secure Timed-Release Secret Sharing Schemes Yohei Watanabe 他
- 被災がれき量推定に向けた畳み込みニューラルネットワークを用いた倒壊建造物の自動抽出* 利根川凜 他

* : 推薦論文 Recommended Paper
† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (June 2016)

【論文誌 プログラミング Vol.9 No.3】

- RL78 マイコン向けCコンパイラCC-RLにおける機種依存最適化の設計 千葉雄司 他



【論文誌 教育とコンピュータ Vol.2 No.1】

- 情報系の学科・大学院で, 専門家としての情報科教員を積極的に育てるべき必要性について一わが国の情報教育の基盤をつくる一 武井恵雄
- Informatics Concepts and Computational Thinking in K-12 Education : a Lithuanian Perspective Valentina Dagiene 他
- Detecting Learning Styles in Learning Management Systems Using Data Mining Madura Prabhani Pitigala Liyanage 他
- コンピュータ・アルゴリズムの「発見・記述・伝達」を導く授業の実践と評価 間辺広樹 他
- 現実の地域課題解決を対象としたソフトウェア開発PBLの実践 桑野文洋 他

- 公文書公開手続きの情報科教育法への活用 中山泰一 他



【論文誌 データベース Vol.9 No.2】

- トピックモデルに基づく大規模ネットワークの重複コミュニティ発見 野沢健人 他
- Paraphrasing Sentential Queries by Incorporating Coordinate Relationship Meng Zhao 他
- Twitter 投稿文章とプロフィール情報を用いたPOI公式アカウント分類手法 落合桂一 他
- マイクロブログからの社会的影響力を持つ情報カスケードの検知手法 川本貴史 他
- 観光ルート推薦のための効率的な制約条件 新妻弘崇 他
- GeSdA - GPU 上での Autoencoder 処理並列化による高速 Deep Learning の実装 中山浩太郎 他



FIT2016 第15回情報科学技術フォーラム

聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集 事前予約申込の御案内

FIT2016Web サイト : <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/>

電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋にFIT(Forum on Information Technology)を開催しており、2016年9月には第15回目を富山大学で開催致します。

つきましては、聴講参加、懇親会参加並びに講演論文集、DVD-ROMの事前予約申込の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。

聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、DVD-ROMは、FIT開催中にも会場販売を行います。残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会期：2016年9月7日(水)～9日(金)
会場：富山大学 五福キャンパス (富山市五福3190)
交通：<市内電車>

JR富山駅前「富山駅」停留所より約15分「大学前」停留所下車 徒歩約5分

※お車(自家用車)での御来場は御遠慮下さい。また、キャンパス近隣への駐車も御遠慮下さい。車イス等で駐車場が必要な場合は事前にお知らせ下さい。

■開催イベント企画 [予定]

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております。(詳細は逐次FIT2016Webサイトに掲載致します)

[招待講演企画・表彰式]

◎船井業績賞受賞記念講演

8日 14:00-15:15 第1イベント会場(黒田講堂 ホール)

「初音ミクは、なぜ世界で支持されるのか」

伊藤博之(クリプトン・フューチャー・メディア(株))

◎FIT学術賞表彰式

8日 13:00-13:50 第1イベント会場(黒田講堂 ホール)

[イベント企画]

第1イベント会場(黒田講堂 ホール)

8日 13:00-13:50 FIT学術賞表彰式

14:00-15:15 船井業績賞受賞記念講演

第2イベント会場(共通教育棟A棟 A21)

7日 9:30-12:00 8K試験放送開始!実用化が進むMMTの最新状況と展望

13:00-15:00 ここから始める情報処理～画像、音声、テキスト、検索、学習、一気にまとめてチュートリアル～劣線形ビッグデータ時代を切り開くキーワード

8日 9:30-12:00 実世界でのビッグデータ分析・実データ活用の実際

15:30-17:30 ダイバーシティ社会に向けたワークプレースを考える

9日 9:30-12:00 助教が吼える! 各界の若手研究者大集合

13:00-16:00 Python によるデータ分析 - 分析の基本とデータ分析コンペでの実践

第3イベント会場(共通教育棟A棟 A23)

7日 15:30-17:30 FIT2016 BUSINESS TREND これが情報技術×ビジネスの最先端だ!

8日 9:30-12:00 Real Estate Tech: 不動産×IT ～ITが拓く不動産の未来～

9日 9:30-12:00 小直径グラフの追究 ～グラフ理論の未解決問題とインターコネクットの未来～

13:00-16:00 ポストムーアコンピューティングのためシリフォニック技術

第4イベント会場(共通教育棟C棟 C11)

7日 13:00-17:30 パターン認識・メディア理解の技術が教育・学習支援にどのように活かせるか

8日 15:30-17:30 ソーシャルビッグデータの利活用によるオープンスマートシティの構築

第5イベント会場(共通教育棟B棟 B21)

7日 9:30-12:00 第7回相磯杯 The 2nd RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 予選

13:00-15:00 第7回相磯杯 The 2nd RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 本選

15:30-17:30 PoTS映像学事始め 第2章

8日 9:30-12:00 10年後も情報科学技術者であるために
15:30-17:30 未来のICTリーダー育成

■聴講参加費(税込)

参加区分	事前予約(7/8まで)	当日
会員	10,000円	12,000円
非会員	20,000円	24,000円
学生	無料	無料

※会員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・DVD-ROM含。

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下の通りです。

会員：電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI)または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEIE、APSI/A、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE)の個人会員に限ります。

非会員：上記の学会会員以外で学生以外の方。

学生：会員/非会員を問わず無料(DVD-ROMは付きません)。

■懇親会[予定] 参加希望の方は事前予約をお願いします

開催日時：9月8日(木) 18:00～20:00

会場：大学食堂

参加費(税込)：社会人 5,000円、学生 2,000円

一般講演座長または査読者 3,000円

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格(税込)

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	60,000円	60,000円
講演論文集分冊	13,000円/冊	16,000円/冊
講演論文集DVD-ROM	9,000円	56,000円

※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊(カバー付き)、DVD-ROM

※学生の方は、会場にてDVD-ROM割会場販売価格4,000円

※講演論文集の掲載分野(予定分冊構成)

第1分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第3分冊：画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム

DVD-ROM：上記全論文とプログラムを収録

(著者、所属、キーワードによる索引付き)

※FIT査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されます。

■聴講参加、懇親会参加、講演論文集の申込み・送金方法

申込締切：2016年7月8日(金)

申込方法：FIT2016Webサイトからお申込み下さい。

受取方法：聴講参加または懇親会参加申込みの方には、申込受付完了メールに引換券(PDF)が添付されておりますので、御来場の際はプリントアウトして御持参頂き、総合受付に御呈示下さい。DVD-ROM(講演論文集セット付属のものは除く)は、すべて事前発送(8月下旬予定)となります。講演論文集セットまたは分冊を御購入の場合は、お申し込みの際に「会場受取り」または「FIT終了後郵送(10月上旬)」のいずれかを選択して下さい。「会場受取り」にされた方には申込受付完了メールに引換券(PDF)が添付されておりますので、御来場の際はプリントアウトして御持参頂き、総合受付に御呈示下さい。

送金方法：申込締切後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので指定の口座へお振込をお願い致します。

※FIT会場での現金でのお支払いは、一切お受け致しませんので予め御了承下さい。

送金期日：2016年10月28日(金)

■次年度のFIT2017開催

2017年9月 東京大学にて開催予定

■問い合わせ(FIT2016幹事学会)

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

一般社団法人電子情報通信学会 大会・研究会部 FIT担当

TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

E-mail: ieicefit@ieice.or.jp

CONTENTS

Preface

2016 Kumamoto Earthquakes and IPSJ's Activities for a Resilient Society

Tatsuo TOMITA (Information-technology Promotion Agency, Japan)

584 Art has, Just as Science has, Changed the Way Humans See the World

Toshiyuki INOKO (teamLab)

Special Features

Dissemination of Linked Open Data in Japan

586 0. Foreword

Hideaki TAKEDA (National Institute of Informatics) and Seiji KOIDE (Ontology, LLC)

588 1. Principles and Trends of Linked Open Data

Hideaki TAKEDA (National Institute of Informatics)

594 2. Construction and Utilization of LOD in Life Sciences

Yasunori YAMAMOTO (Database Center for Life Science)

600 3. Geospatial Information as Linked Open Data

Yuzo MATSUZAWA (Indigo Corp.)

606 4. Metadata for Publications and Universal Bibliographic Control : Linked Open Data of the National Diet Library

Akiko HASHIZUME and Julie FUKUYAMA (National Diet Library)

612 5. Government Interoperability Framework - Infrastructure Multi-Layer Interoperability Project Define Common Vocabularies and Data Structures -

Kenji HIRAMOTO (Cabinet Secretariat / Ministry of Economy, Trade and Industry)

620 6. Civic Tech and LOD - Through Activities in Kansai Area -

Kouji KOZAKI (Osaka Univ.), Hiroshi UEDA (Linked Open Data Initiative) and Toru TAKAHASHI (ATR Creative)

Special Features

Information Security and Safety of Vehicles

627 0. Foreword

Takao OKUBO (Institute of Information Security)

628 1. Information Security and Vehicles

Takao OKUBO (Institute of Information Security)

630 2. Safety and Security

Takao OKUBO (Institute of Information Security)

632 3. Safety and Security for In-vehicle Electronic Systems

Ryo KURACHI, Yutaka MATSUBARA and Hiroaki TAKADA (Nagoya Univ.)

638 4. Railway Safety and Security

Takashi MORI and Shunsuke YATABE (West Japan Railway Company)

644 5. Security of Wireless Technology in Air Traffic Control

Keiichi HORIAI (Fujitsu System Integration Labs.)

Articles

648 Introduction to Public Health Informatics

Takashi OKUMURA (National Institute of Public Health)

Senior Column : Messages on Favorite IT

626 Myths

Toyoaki NISHIDA (Kyoto Univ.)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

652 Oral History : Interview with Shuzo Yajima

Chigusa KITA (Kansai Univ.), Hiroshi HATTA (OKI Consulting Solutions Co., Ltd.) and Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.)

"Peta-gogy" for Future

665 Reviving Handwriting in Education through Software Development

Hirokazu BANDO (Dokkyo Medical Univ.)

666 The Importance of Study Group by Information Study Subject and the Training Systems for High School Teachers : a Case of Tokyo

Hiroyuki YAMAMOTO (Tokyo Metropolitan Jindai High School / Tokyo High School Information Education Study Group)

660 Activities of IPSJ - Special Reports by the Female Team of IPSJ Magazine -

670 Biblio Talk

672 Conference Report

674 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax:(03)3518-8375

ご意見をお寄せください！

【7月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他…………… 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員） (j) その他…………… 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性…………… 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ…………… 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 9- []
- (10) 今月号（2016年7月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 2016年熊本地震と学会の目指すもの…………… 10-1- []
- 巻頭コラム：サイエンスと同じように、アートによって、人類は世界が見えるようになった…………… 10-2- []
- 特集：リンクト・オープン・データの利活用
1. リンクト・オープン・データの原理原則と最近の進歩…………… 10-3- []
2. 生命科学分野における LOD の構築と利用…………… 10-4- []
3. 地理空間情報と LOD…………… 10-5- []
4. 出版物に関するメタデータと国際書誌コントロール…………… 10-6- []
5. 政府が推進する社会のデータ共有環境の整備…………… 10-7- []
5. シビックテックと LOD…………… 10-8- []
- IT好き放題：神話…………… 10-9- []
- 小特集：乗り物の情報セキュリティと安全性
1. 情報セキュリティと乗り物…………… 10-10- []
2. セーフティとセキュリティ…………… 10-11- []
3. 車載機器のセキュリティと安全性…………… 10-12- []
4. 鉄道のセキュリティと安全性…………… 10-13- []
5. 乗り物のハッキングと安全性…………… 10-14- []
- 情報処理と公衆衛生…………… 10-15- []
- 古機巡礼/二進伝心：オーラルヒストリー：矢島脩三氏インタビュー…………… 10-16- []
- 女子部が行く！：事務局…………… 10-17- []
- べた語義：「手書き」を活かした教育を…………… 10-18- []
- べた語義：情報科における研究会活動の意義と高校現場の研修体制…………… 10-19- []
- ピブリオ・トーク：部分と全体…………… 10-20- []
- 会議レポート：第20回情報処理学会シンポジウム インタラクシオン 2016 参加報告…………… 10-21- []
- 会誌編集委員会女子部…………… 10-22- []
- 連載漫画：IT 日和…………… 10-23- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事…………… 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家…………… 11-2- []
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）…………… 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 12-1- []
 [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 [12-3] 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可） 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] リンクト・オープン・データの利活用：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
 [13-2] 乗り物の情報セキュリティと安全性：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見やご感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産），著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読，DP レポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／JIP／トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会，情報処理教育委員会，ア krediyteshon 対応，認定情報技術者制度
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー，短期セミナー，IT フォーラム，ソフトウェアアジャパン，その他講習会
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

「リンクト・オープン・データの利活用」の特集について最初にアプリケーション分野専門委員で話が上がったのが昨年の夏ごろでした。当初9月号発行予定としたところ、直後の編集委員会にて4月ごろにできないかという打診があり、予定執筆者の方々に確認したところとても無理とのことでした。間をとって何とか7月号に間に合わせるようにということで、一部の執筆者にはご無理をお願いして申し訳ありませんでした。というわけで、5月連休も含めて、各執筆者には校正の連絡やら修正のお願いやらのご協力をいただきました。ありがとうございます

いました。おかげさまで日本の LOD の現状の一端を読者の皆様にお届けすることができたことと自負しておりますが、さて皆様の評価はいかがでしょう？ それにしても今思えば、ああこれもあった、あれも出てきた、という具合で、特集記事まとめの大変さもさることながら、旬の情報を届けることの難しさも痛感した次第です。また2年後にこの後続特集記事をまとめたいと思っております。皆様の忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

(小出誠二／本特集エディタ)

セキュリティとセーフティ…この2つの言葉の組合せ、最近あちこちで耳にしませんか？ 同じものを指すように外から見える言葉は、実は意味も背景も標準も規格も、専門分野も研究コミュニティも異なります。その重要性にもかかわらずどうやらその違いがそのまま放置されてきたらしいことに、気付いた人たちがあせっているのではないかと思います（私もその1人です…）。2020年はすぐそこののに、セキュリティ・セーフティの大統一理論はまだまだ先の、夢のまた夢なのではとらぬ(?)心配をする日々を送っております。

そんな訳で今回は、乗り物の種類もさることながら、セキュリティ、セーフティ双方のお話をいただける方を集めるのに苦労しました。繁忙期中、執筆いただいた方々には感謝の言葉もありません。おかげで内容の濃い特集をお届けできたと思います。心残りの点は、私の力不足なのですが、規格化、標準化の記事を書いていただく方が結局見つからなかったことです。なんでも今、IECあたりで策定中という噂も仄聞しますし、もし次回続きをさせていただける機会があれば、そのときにはお届けできるのではないかと…

(大久保隆夫／本小特集ゲストエディタ)

次号(8月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」SAT 技術の進化と応用～パズルからプログラム検証まで～

SAT 技術の進化／SAT とパズル—問題をいかに SAT ソルバーで解くか—／SAT とラムゼー数～数学の未解決問題への挑戦～／SAT と AI／SAT ソルバーの最近の進展／MaxSAT:SAT の最適化問題への拡張～MaxSAT ソルバーの活用法～／SMT ソルバーによるプログラム検証

「連続特集」あなたの知らないプログラミングの世界～プログラミングがこんなに面白いって知っていましたか?～

プログラミングを学ぼう!／Web プログラミングをやってみよう!(前編) プログラミングのいろは～ビットくんのツイートをいじり倒そう!いつもの「Twitter」から始めるプログラミング～「ツイートの色を変える」から「関数」まで

解 説：センシング技術を用いたスポーツ情報解析……………菅田雅彰 他
デジタル手書きの情報処理—目に見えない手書きデータに眠る新たな可能性を切り開く—……………浅井洋樹

報 告：2015 年度論文賞の受賞論文紹介／2015 年度長尾真記念特別賞紹介／2015 年度喜安記念業績賞紹介

教育コーナー：べた語義

連 載：IT 日和／会誌編集委員会女子部／女子部が行く!／ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

会議レポート：PerCom 2016 参加報告／会誌編集委員会女子部 番外編 「インタラクション 2016 Women's Luncheon 開催報告」
／情報処理学会第 78 回全国大会報告

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」57巻7号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース 表2 日本マイクロソフト 表4
 オージス総研 表2対向 フォーラムエイト 目次前
 とめ研究所 前付最終上
 すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルートホールディングス

Google

グーグル (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT Data

NTT データ (株)

OKI

沖電気工業 (株)

GREE

GREE (株)

楽天

楽天 (株)

ISA

情報サービス産業協会

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)

FORUM 8

(株) フォーラムエイト

●●● 賛助会員 (2口)

KDDI

(株) KDDI 研究所

NTTAT

NTT アドバンステクノロジー (株)

NTTソフトウェア

NTT ソフトウェア (株)

SFC

三協印刷 (株)

JR

鉄道情報システム (株)

KCT

(株) ナレッジクリエーション
テクノロジー

放送協会

日本放送協会
放送技術研究所

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立システムズ

NEC ソリューション
イノベータ (株)

インテル (株)

【A～Z】

(株) ATR-Trek
 (株) CIJ
 (株) CIJネクスト
 GMOペパボ(株)
 (株) HBA
 (株) IT働楽研究所
 JRCエンジニアリング(株)
 (株) JR東日本情報システム
 (株) JTBコーポレートセールス
 法人営業川崎支店
 (株) K&S
 (株) KDDI研究所
 MHIエアロスペースシステムズ(株)
 (株) NEC情報システムズ
 NECソリューションイノベータ(株)
 技術統括部
 NECソリューションイノベータ(株)
 パブリック事業本部
 NECフィールディング(株)
 NTTアドバンステクノロジー(株)
 NTTコムウェア(株)
 NTTソフトウェア(株)
 (株) NTTデータ
 (株) NTTデータ・アイ
 (株) NTTデータ関西
 (株) NTTデータ九州
 (株) NTTデータ東海
 (株) NTTデータ東北
 (株) NTTドコモ
 (株) OKIソフトウェア
 (株) PFU
 SCSK(株)
 TDCソフトウェアエンジニアリング
 (株)
 TIS(株)
 (株) UBIC

【あ行】

アートシステム(株)
 アイアンドエルソフトウェア(株)
 (株) アイヴィス
 (株) アイ・エス・ビー
 アイシン・コムグループ(株)
 アイシン精機(株)
 (株) アイズファクトリー
 アシアル(株)
 (株) アドバンス トラフィック シス
 テムズ
 (株) アドバンス・メディア
 (株) アルファシステムズ
 (株) いい生活
 (株) イーブックイニシアティブジャ
 パン
 池上通信機(株)
 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
 (株) インテック
 (株) インテリジェンス
 インテル(株)

インフォサイエンス(株)
 (株) ヴァル研究所
 ヴィスコ・テクノロジー(株)
 (株) うえじま企画
 (株) エイ・ダブリュ・ソフトウェア
 (株) エクサ
 エクセルソフト(株)
 (株) エスケーエレクトロニクス
 エヌ・ディー・アール(株)
 (株) エルザジャパン
 オークマ(株)
 (株) 大塚商会
 (株) オーム社
 沖電気工業(株)
 (株) 小野仁
 オムロン(株)

【か行】

国立研究開発法人 科学技術振興
 機構
 (公財)画像情報教育振興協会
 (学)片柳学園日本工学院八王子
 専門学校
 関西テレビソフトウェア(株)
 関電システムソリューションズ(株)
 (一財)機械振興協会
 キヤノン(株)
 キヤノン(株) 総合R&D研究開発
 推進部
 キヤノンITソリューションズ(株)
 (公財)九州先端科学技術研究所
 共立出版(株)
 (株)近代科学社
 グーグル(株)
 グリー(株)
 (株) コア 中四国カンパニー
 (株) 構造計画研究所
 国土館大学図書館・情報メディア
 センター
 国立国会図書館
 コニカミノルタ(株)

【さ行】

(株) サイバーエージェント
 サクサ(株)
 サクシード(株)
 三協印刷(株)
 三美印刷(株)
 (株) シーエーシー
 システム・オートメーション(株)
 シャープ(株)
 (株) ジャステック
 (株) ジャパンテクニカルソフトウェア
 (一社)情報サービス産業協会
 (独)情報処理推進機構
 新日鉄住金ソリューションズ(株)
 住友電気工業(株)
 (株) セガゲームス
 (株) セカンドセレクション

セコム(株)
 ソニー(株)
 (株) ソフトウェアコントロール
 (一財)ソフトウェア情報センターソ
 フトウェア特許情報センター
 ソフトバンクモバイル(株)

【た行】

(株) 中電シーティーアイ
 (一社)中部産業連盟
 中部電力(株)
 通研電気工業(株)
 テービーテック(株)
 デジタルプロセス(株)
 鉄道情報システム(株)
 (公財)鉄道総合技術研究所
 (公財)電気通信普及財団
 (一社)電子情報技術産業協会
 (株) 電盛社
 (株) デンソー
 (株) デンソー ITソリューションズ
 (株) デンソーアイティエーラボラトリ
 (株) デンソークリエイト
 (一財)電力中央研究所
 東海ソフト(株)
 東海旅客鉄道(株)
 (株) 東芝
 東芝インフォメーションシステムズ
 (株)
 東芝システムテクノロジー(株)
 東芝情報システム(株)
 東芝ソリューション(株)
 東芝マイクロエレクトロニクス(株)
 東芝メディカルシステムズ(株)
 (株) 東和システム
 トーヨー企画(株)
 特許庁
 (株) トヨタコミュニケーションシ
 テム
 トヨタ自動車(株)
 (株) 豊田中央研究所
 (株) トヨタデジタルクルーズ
 (株) ドワンゴ

【な行】

(株) ナレッジクリエーションテクノ
 ロジー
 (株) ニコンシステム
 日鉄日立システムエンジニアリング
 (株)
 日本アルゴリズム(株)
 日本電気(株)
 (株) 日本電気特許技術情報セン
 ター
 日本アイ・ピー・エム(株)
 (公社)日本化学会
 日本銀行
 国立研究開発法人 日本原子力研
 究開発機構

日本証券テクノロジー(株)
 (一財)日本情報経済社会推進協会
 (一社)日本情報システム・ユーザー
 協会
 日本信号(株)
 日本電子計算(株)
 日本電信電話(株)
 (一財)日本品質保証機構
 日本放送協会 放送技術研究所
 日本マイクロソフト(株)
 日本無線(株)
 日本ユニシス(株)
 (株) 野村総合研究所

【は行】

パームス(株)
 (株) ハイエレコン
 パイオニア(株)
 萩原電気(株)
 (有)バクサリー
 パナソニック(株)
 パナソニック(株) エコソリューション
 ズ社
 (株) 日立公共システム
 (株) 日立国際電気
 (株) 日立産業制御ソリューション
 ズ
 (株) 日立システムズ
 (株) 日立製作所 情報・通信シ
 テム社
 (株) 日立製作所 中国支社
 (株) 日立ソリューションズ
 (株) 日立ソリューションズ・クリエ
 イト
 (株) 日立ソリューションズ西日本
 (株) 日立ソリューションズ東日本
 (株) 日立テクニカルコミュニケー
 ションズ
 (株) ファースト
 フェアリーデバイズ(株)
 (株) フォーカスシステムズ
 (株) フォーラムエイト
 (株) フジキカイ 名古屋工場
 富士通(株)
 (株) 富士通アドバンスエンジニア
 アーリング
 (株) 富士通エフサス
 (株) 富士通九州システムズ
 (株) 富士通システムズ・イースト
 (株) 富士通システムズ・ウエスト
 (株) 富士通ソーシャルサイエンス
 ラボラトリ
 富士フィルム(株)
 船井電機(株)
 フューチャーアーキテクト(株)
 ブラザー工業(株)
 古野電気(株)
 (株) 堀場製作所
 (株) 本田技術研究所基礎技術研
 究センター

【ま行】

マツダ(株)
三井情報(株)
(株)ミックナイン
(株)ミットヨ
三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
三菱スペース・ソフトウェア(株)
三菱電機(株)
三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
三菱電機インフォメーションネットワーク(株)
三菱電機コントロールソフトウェア(株)

三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)
(株)三菱東京UFJ銀行
三菱プレシジョン(株)
武蔵野美術大学
(株)メイテツコム

【や行】

ヤフー(株) Yahoo! JAPAN 研究所
ヤマハ(株)
横河電機(株)

【ら行】

楽天(株)
リードエグジビションジャパン(株)
(株)リクルートホールディングス
(株)リコー
(株)リナックス総合研究所
(株)両備システムズ
(株)リンクレア

<入会予定>
(株)ATJC
アビームシステムズ(株)
三友工業(株)
(株)スタートトゥデイ
トレンドマイクロ(株)

注) 一般社団法人・一般財団法人・公益社団法人・公益財団法人はそれぞれ(一社)・(一財)・(公社)・(公財)と省略した。

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率 (正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/os_relation.html) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。
 正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。
 ※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書(正会員) (https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375